

「IP 防犯ネット」情報 Vol.20 で CP 錠をご紹介しましたが、今回はガラス打ち破りと呼ばれる手口に有効な CP ガラス等をご紹介します。まずは CP 部品について簡単に復習しましょう。

CP 部品とは ?



CP ガラス

一定の基準を満たしたドアやガラス、錠等の建物部品を CP 部品と呼びます。

CP 部品はドロボウが壊し始めてから **5 分以上耐えられるかどうか**等の試験に合格しているため、防犯性能が高く期待できます。

CP ガラスは一般的なガラスよりも割れにくいガラスです。ドロボウが割ろうとしても簡単に割ることはできません。



手首が通るだけの穴が開いたら侵入されてしまいます。

右の図は CP ガラスのイメージです。

CP ガラスは 2 枚のガラスの間に特殊な膜を挟んだ合わせガラスの一種です。

CP ガラスの特徴は

割れにくい

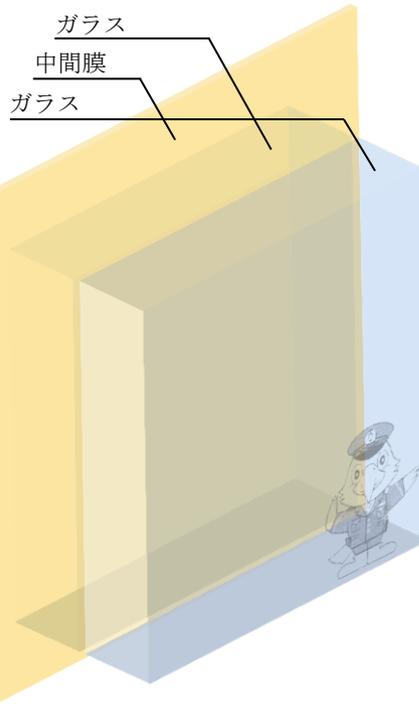
基本構造は防弾ガラスと同じ。

工具で叩いてもなかなか割れません。

破片が飛び散らない

膜がガラスをしっかり掴み、破片を周囲に飛び散らせません。

万一の災害時にも安心です。



ドロボウの侵入方法で最も多いのはガラス破りです。CP ガラスはガラス破りの所要時間を延ばし、防犯性能アップに有効です。しかしガラスだけでは十分ではありませんのでセキュリティシステム等を含めて総合的な対策をご検討ください。既存のサッシにも取替え簡単です。

防犯設備協会 ガラス部門会長
梶嶋氏からのアドバイス

CP フィルム (ウィンドウフィルム)

他にもガラスに防犯性能を持たせる部品に CP フィルムがあります。

CP フィルムは一般的なガラスに張り付ける大きく透明度の高いシールのような部品で、CP ガラスより安く手軽に導入できるメリットがあります。

フィルムはガラスと比べて耐用年数が短い等のデメリットもあるので、状況に応じて使い分けましょう。